

# TUNING CAR 2014 D3

D3キャデラック日本上陸!! ASDN販売店にて取り扱い決定

2013年の春から日本に正規輸入が開始された「D3」をASDNでも販売する事が決定した。アメリカ本国では「GM」ともコラボレーションしているD3が、ついに日本でも手軽に購入出来るようになったのだから、現キャデラックオーナーやキャデラックの購入を検討中の方には朗報だろう。

文●田中義 写真●兵部冬樹  
text by TANAKA Shigehito photos by HAYASHI Fuyuki  
取材協力●ASDN www.asdn.jp  
撮影協力●D3 JAPAN www.d3cadillac.jp

CADILLAC SRX CROSSOVER



フロントホイール、サイドスカート、サイドステップ、リアサブフロア（スカート）、フェンダーエッジエクステンションのセット価格は49万8000円。取付車両はディアブロホイールを装着していたが、これは運転車両を用意してくれたウイングオートが独自に装着したもので、ASDNの取扱いパーツとはなっていない。

CADILLAC ATS



フロントバンパー、サイドスカート、リアルーフホイール、リアウイングのセット価格は39万8000円。足回りはスポーツローリングコイルとスタビライザーを交換しており、エアロキットと合する車体ローンスタイルを実現。取付車両は左右異なるHREホイールを装着していたが、これはオプションとなる。



「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

現代のキャデラックはいずれのモデルであってもアメリカでも十分な走行性能とスタイルを有しているが、他のオーナーとの差別化を図りたい方にとって、D3は格好のアメリカ車をいえるだろう。

現時点でのD3シャパンの取り扱いパーツのラインナップに関しては、車種によって多少の違いはあるが、中心となるのはエアロダイナミクス、スポイルトなどのポテパトリ、ヒサスベンションなどの足まわりパーツであり、テクニクローシ車視のD3らしく、スタイル的な方向性としては、いずれもラジコンコアリト色よりもスポーティ色が強いデザインとなっている。また、ATSやCTS-Vに関しては、ベースモデルのキャラクターを考慮して、スポーツマフラーやエアインテークキットといった吸排気系のパフォーマンスパーツも用意されているので、その気になればスポーティさをより強調することも可能だ。

アメリカ車のエアロパーツといえば、昔から見た目のインパクトを重視した商品が多いのだが、D3に関してはあくまでも性能重視。それを見て見た目も確実にドレスアップ出来るのだから、オーナーとしてはまさに心く石二鳥。ひと粒で一度美味しいアワタハパーツといえるだろう。

今回ASDNが取り扱いを発表したD3の商品ラインナップは、キャデラックATS、SRXクロスオーバー、CTS-Vの計4車種。いずれもコンプリートカーとしての車両販売ではなく、パーツ販売及び車両持ち込みによるカスタムサービスという形での取り扱いとなっており、パーツはD3の正規輸入元である「D3シャパン」より供給される。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

「D3」は格好のアメリカ車をいえるだろう。

アメリカンハイパフォーマンスカーのデイトナネットワークであるASDNのライディングに新たに「D3」が加わることにした。

D3というのは、日本ではまだほとんど知られていないが、キャデラック専門のパフォーマンスエンジニア「アフターパーツメーカー」として、すでにアメリカでは確固たる地位を築いている「アフターパーツメーカー」である。

世界最大のアフターパーツメーカーとして名高い「セマンシット」を見ても分かる通り、アメリカには自動車をチューニングしたりカスタムしたりするメーカーが無数に存在するが、D3が他のパフォーマンス系メーカーと線を画するのは、同社のユークな車両製作理念にある。その理念とは「エンジンパワーだけで素晴らしいクルマを作ることとはできない」というもので、同社が重要視しているのは「パフォーマンスのバランス」であり、「現代的なテクノロジーやデザイン」なのである。

我々日本人がアメリカのオーナーとして聞いてすぐに思い浮かぶのは、大排気量V8エンジン、プロワースーパーチャージャーやNOS、ニトロ、を搭載した超下級のパワーを誇るモンスターマシン達であるが、「D3」というメーカーは、むしろパワーのみを追求するチューニングを由としないのである。

D3に在籍する開発スタッフの多くは、レースワールドを中心とする、レーススポーツの世界で修行を積んだ人々であり、また、D3の製作したパーツは世界中のレースで使用されているのだが、そんな同社がパワー至上主義的な考えを否定するような理念を掲げているという